**工場・事業場立入調査票**（令和　年　月　日 作成）

|  |  |
| --- | --- |
| 事　業　所　名 |  |
| 所　　在　　地 |  |
| 事業所の代表者 | 役　職 ：　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名 ：　　　　　　　　　　　 |
| 業　　　　　種 |  |
| 資　　本　　金 |  |
| 常用 雇用者数 | 全従業員：　 　名 （社員　　 　名＋その他　　　名） | 操業時間 | 定時操業 ： ～ 　： （交替勤務　：　　**有　・　無**　） |
| 環境管理担当部課 |  | 担当者名 | 氏名:TEL :Mail： |
| 操業状況**・** 季節変動　**：**　**有　・　無**　「有」の場合、変動状況 ：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**・** 時間変動　**：**　**有　・　無**　「有」の場合、変動状況 ：  |
| 生産品目・取扱品 | 品　　　目 | 生産量/年**※** | 　使用原材料等 | 原材料・資材・補材(燃料含む) | 使用量/年 |
|  |  |  |  |
| ※生産量の単位は生産数量（個/年）または､生産高（百万円/年）等を選択してください。 |
| * 生産工程図（フローシート）　**※**　別紙　添付可
 |
| 1. 汚水・廃液、排ガス等が排出する工程・施設であることが分かるように記載してください。

注２）水質、騒音・振動、ダイオキシンに関する特定施設およびばい煙発生施設（VOC､粉じん含む）に該当するものには**太枠**で囲んでください。 |

**１．水質・土壌・地下水関係**

|  |
| --- |
| * 特定施設・有害物質貯蔵指定施設の有無　**有 ・ 無** (有の場合､以下に記載してください｡)
 |
| 特定施設番号※ | 特定施設の種類※ | 設置基数 | 使用する水質有害物質 |
| 水濁法 | 県条例 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| ※水質汚濁防止法施行令別表第１または滋賀県公害防止条例施行規則別表第１に掲げる特定施設の番号および種類を記載してください。 |
| 有害物質貯蔵指定施設施設の名称 | 設置場所 | 貯蔵する有害物質の種類 | 漏洩防止対策 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ○ 有害物質等の使用状況 |
| **・** 有害物有の使用　 →**別紙１** **「水質汚濁防止法・土壌汚染対策法における有害物質使用状況チェックシート」に記載してください。****・** 油類や指定物質の使用 →**別紙２ 「水質汚濁防止法『事故時の措置』が必要な物質の使用状況チェックシート」に記載してください。** |
| * 有害物質使用特定施設および有害物質貯蔵指定施設の構造基準適合状況

（代表的な施設について以下に記載してください。） |
| **・** 番号・施設名 |  |
| * 構造基準
 | （ **A基準 ・ B基準** ）に適合 |
| * 管理要領
 | **有　・　無** |
| * 定期点検
 | 有　(点検頻度：　　回／年)　・　無 |
| * 番号・施設名
 |  |
| * 構造基準
 | （ **A基準・ B基準** ）に適合 |
| * 管理要領
 | **有　・　無** |
| * 定期点検
 | **有**　(点検頻度：　　回／年)**・　無** |
| **※有の場合、管理要領および最近の定期点検記録の写しを添付してください。****（代表的な施設のみで可）** |

|  |
| --- |
| ○ 用水量・排水量　（ｍ３/日） **※マスバランスシート（用水量と使用施設・場所がわかる図）を添付してください。****※最近の排水自主検査結果の写しを添付してください。（測定頻度：　　　回／　　）** |
| 用水量　　（ｍ３／日） | 排水量　　（ｍ３／日） |
| 用水元 | 量 | 用途 | 量 | 排水先 |
| 上水道 |  | 特定施設排水 |  | 河川・下水道・（他　　　　　） |
| 工業用水 |  | その他の工程排水 |  | 河川・下水道・（他　　　　　） |
| 地下水 |  | 生活排水（し尿､食堂等） |  | 河川・下水道・（他　　　　　） |
|  |  | 冷却水 |  | 河川・下水道・（他　　　　　） |
|  |  |  |  |  |
| 用水量計 |  | 排水量計 |  |
|  |  |  |  |  |

|  |
| --- |
| ○ 排水の処理方法　（別紙添付可） |
|  |
| * 排水経路図　（別紙添付可）　　放流河川名**：**
 |
|  |
| * 土壌汚染・地下水汚染未然防止対策
 |
| 監視井戸の有無 | **有**（県公害防止条例第29条の５に基づく井戸 ・ その他）**・ 無****※有の場合、設置場所が分かる図面を添付してください。** |
| 地下水の浄化の有無 | **有　　・　　無** |
| ただし書の確認申請の有無 | 土壌汚染対策法第３条第１項 | **有　・　無** |
| 滋賀県公害防止条例第49条第１項 | **有　・　無** |
| 指定有害物質使用地 | **該当　・　非該当** |

**２．大気関係**

|  |
| --- |
| ○ ばい煙発生施設の有無 **： 有　・　無**(有の場合､以下に記載してください｡) |
| 施設番号※ | 種　類※ | 設置基数 | 規模※ | 燃料の種類 |
| 大防法 | 県条例 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| ※大気汚染防止法施行令別表第１または滋賀県公害防止条例施行規則別表第２に掲げるばい煙発生施設番号、種類および届出した規模を記載してください。 |
| * 揮発性有機化合物（VOC）排出施設の有無 **： 有　・　無**

 (有の場合､以下に記載してください｡) |
| 施設番号※ | 種　類※ | 設置基数 | 規模※ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※大気汚染防止法施行令別表第１の２に掲げる揮発性有機化合物排出施設番号、種類および届出した規模を記載してください。 |
| * 粉じん発生施設（一般・特定）の有無 **： 有　・　無**

(有の場合､以下に記載してください｡) |
| 施設番号※ | 種　類※ | 設置基数 | 規模※ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※大気汚染防止法施行令別表第２（一般粉じん発生施設）または別表第２の２（特定粉じん発生施設）に掲げる番号、種類および届出した規模を記載してください。 |
| * ダイオキシン類排出施設（大気・水質）の有無 **： 有 ・ 無**

(有の場合､以下に記載してください｡) |
| 施設番号※ | 種　類 | 設置基数 | 規模※ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第１、２に掲げる番号および届出した規模を記載してください。 |
| ○ 排ガスの処理方法 |
| * 排ガスの自主検査　　（別紙　添付可）
 |
| * 排ガス自主検査の有無　 　 **：　　有**　　(測定頻度**：**　　　　　　回/年)　**・ 無**

**※有の場合、最近の排ガス自主検査結果の写しを添付してください。*** 排ガス自主検査の測定項目 **：**
* 排ガス規制基準への適否**：　適合 ・ 不適合**　(不適合項目**：**　　　　　　　　　　　　　　　　)
 |

**３．化学物質・フロン関係**

|  |
| --- |
| * PRTR制度対象物質※の使用の有無 ：　**有 ・ 無**

※特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）施行令別表第１に掲げる第一種指定化学物質 |
| * 「第一種特定化学物質の排出量及び移動量の届出書」の提出　：　　**有　・　無**

 　 （提出日 : 令和 年　 月　 日）※届出対象事業者は、PRTR法施行令第３条に定める対象業種に属し、常時使用する従業員が21人以上であり、対象化学物質の年間取扱量が一定量以上である事業者 |
| * 第一種特定製品（業務用空調機器、冷蔵・冷凍機器）の設置台数

※フロン排出抑制法の対象機器であり、家電リサイクル法の対象機器は除く。 |
| 原動機の出力 | 7.5kW未満 | 7.5kW以上 50kW未満 | 50kW以上 |
| 空調機器 |  |  |  |
| 冷蔵・冷凍機器 |  |  |
| * + ｢空調機器｣とは、室内を冷暖房する機器類(スポットクーラ含む)であり、｢冷蔵・冷凍機器｣とは、空調機器以外のフロンを使用する冷蔵・冷凍機器で、コンプレッサ付属のエアドライヤー、ＮＣ工作機の制御用冷却機器等も「第一種特定製品」に該当する。
 |
| ・簡易点検（３か月に１回以上）の実施 | **有　・　無** |
| ・定期点検（7.5 kW以上の機器）の実施 | **有　・　無** |

|  |
| --- |
| **※最近の簡易点検および定期点検の記録の写しを添付してください。また、第一種特定製品の一覧表等があれば添付してください。** |
|  |

|  |
| --- |
| **４．滋賀県CO2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例** |
| ○ 事業者行動計画書（条例第25条）　　→　提出義務要件は､原油換算1,500ｋL/年以上　 |
| ・事業場のエネルギー使用量（原油換算）　　　　　　 ｋＬ/年　（対象年度：　　　　年度分）・事業者行動計画書の提出　　**有　・　無**　　　　　（提出日：　　　　年　　月　　日）※原油換算1,500ｋL相当のｴﾈﾙｷﾞｰ使用量：（電気約5,800千kWh、都市ｶﾞｽ約1,300千㎥、灯油約1,600ｋL、重油約1,400kL） |
| * アイドリング・ストップに係る措置（条例第43条）
 |
| ・500ｍ２以上の駐車場(概ね35区画以上)　  **有 ・ 無**　・アイドリング・ストップ掲示板等の設置　　　　　 **有　・　無** |
| * 自動車管理計画書（条例第44条）　　→ 提出義務要件は､県内の業務用保有台数全100台
 |
| ・自動車管理計画書の提出　**有　・　無**　　　　保有台数（　　　　　台） |

**５．騒音・振動・悪臭関係**

|  |
| --- |
| * 騒音特定施設の有無**：**　**有 ・ 無**(騒音規制区域：**第1種・第2種・第3種・第4種**）
 |
| 特定施設番号※ | 種　類 | 設置基数 | 規模※ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※騒音規制法施行令別表第１に掲げる番号および規模を記載してください。 |
| ○ 振動特定施設の有無**：**　**有 ・ 無** （振動規制区域：**第1種 ・ 第2種-Ⅰ ・ 第2種-Ⅱ**） |
| 特定施設番号※ | 種　類 | 設置基数 | 規模※ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※振動規制法施行令別表第１に掲げる振動発生施設番号および規模を記載してください。 |
| * 悪臭物質
 |
| ・　特定悪臭物質使用の有無　**： 　有 ・ 無****※ 別紙３　「悪臭防止法特定悪臭物質チェックシート」に記載してください。** |
| * 苦情
 |
| ・　騒音・振動・悪臭に係る苦情の有無**： 　有 ・ 無**(有の場合､以下に記載してください｡) |
| 時期 | 状況 | 対策 |
|  |  |  |
|  |  |  |

**６．廃棄物関係**

|  |
| --- |
| ○ 廃棄物の発生状況について |
| ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 ：　　**有 　・　 無****※有の場合、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の写しを添付してください。****※無の場合、その理由を以下に記載してください。**（例：１年間廃棄物の搬出が無かったため。電子マニフェストを利用したため。）**（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）** |
| ○ PCB廃棄物について |
| ・ＰＣＢ廃棄物の有無 ：**有**　（ﾄﾗﾝｽ、ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ、安定器、その他　　　　　　　　　）**・　無**・ＰＣＢ使用機器（使用中）の有無 ：**有**　（ﾄﾗﾝｽ、ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ、安定器、その他　　　 　　）**・　無** |
| ○ 事業系一般廃棄物について |
| ・年間発生量　　　　　：　（　　　　　　　　ｋｇ　）・収集運搬・処分先　：　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**７．環境管理体制**

|  |
| --- |
| ○ 公害防止管理者等選任状況（公害防止組織法上の選任義務　：**有　・　無**） |
|  | 必要な資格区分※１ | 統括者・管理者の氏名（保有資格※２） | 代理者の氏名（保有資格※２） |
| 公害防止統括者 | 統括管理する者（例：社長、工場長等） | （資格不要）　　　　　　　　　　　 | （資格不要） |
| 主任管理者 |  | （　　　　　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 公害防止管理者 | 水　質 | 水質関係　第　　種 | （水質関係　第　　種） | （水質関係　第　　種） |
| 大　気 | 大気関係　第　　種 | （大気関係　第　　種） | （大気関係　第　　種） |
| 粉じん |  | （　　　　　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ダイオキシ |  | （　　　　　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 騒　音 |  | （　　　　　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 振　動 |  | （　　　　　　　　　　　　　　） | （　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ※１　必要な公害防止管理者の種類※２　個人が有する資格（例：水質関係第４種、ダイオキシン類、騒音・振動） |
| * 環境事故の想定訓練・体制　（自主管理体制の確認）
 |
| ・緊急連絡体制の整備 | **有　・　無** |
| ・事故対応用資材の準備 | **有　・　無** |
| ・事故対応手順書、マニュアル等の整備 | **有　・　無** |
| ・事故対応訓練の実施 | **有　・　無** |

**８．環境保全に資する取組について**

|  |
| --- |
| ○ 貴事業場の環境保全に資する取組について、次の対象があれば記載してください。**・** 対 象：化学物質の排出抑制、各種削減活動、環境汚染事故の未然防止のための取組みなど例：○ 地元地域とのリスクコミュニケーションに関する取組について○ 化学物質の段階的な排出抑制およびより安全な化学物質への代替等について、〇　CO2排出削減、廃棄物削減、用排水削減等の取組について○ 油類、薬品等の保管方法など、事故の未然防止のための取組について○ 環境汚染事故発生時の被害の拡大防止対策について**・** 対 象：地域の環境保全や環境向上のための取組みなど例：○ 地元地域を対象とした環境学習などの取組について○ 事業場見学会などの環境啓発への取組について○ 環境保全活動に対する寄付、物的支援および人的支援関与について○ 定期的な清掃活動などの環境美化活動の取組について**※**　管内の各事業場における環境保全に関する取組の向上を図るため、事例を取りまとめの上、他の事業場での取組の参考としていただけるよう研修会等で簡単にご紹介させていただく場合があります。　 |